

AIチップ開発サテライト拠点計算サーバの導入 仕様書別紙

Linux計算サーバ

機種	: 19インチラックマウントタイプで、メーカーでRedHat Enterprise Linux 7.3又はCentOS 7.3で動作が確認されていること。
プロセッサ	: コア数8以上 ベース動作周波数 1.8GHz以上、又はコア数4以上 ベース動作周波数3.7GHz以上 メモリDDR4-2400対応の性能を有すること。
メモリ	: 48GB以上を有すること(メーカー純正)
内臓HDD	: 1TB以上のホットプラグ対応HDD(7200rpm以上)RAID5構成で2TB以上の容量を有すること。 なお、HDDのスペアとして、同容量のHDDを1本を格納状態で有すること。 SSDによる構成も可とする。
内臓ドライブ	: DVD-RW/DVD-ROMコンボドライブ以上
ネットワーク	: Gigabit Ethernet 2以上
I/F	: キーボード、マウス、モニター、USB(3以上)
OS	: CentOS7.3以上(インストール時に全ての選択可能なオプションをインストールすること。)
電源	: 電源ユニット冗長構成(ホットプラグ対応)
保守	: 3年間オンサイト(平日9:00-17:30オンサイト当日対応)
その他	: 機器間、電源の接続に必要なケーブル及びアダプタ類 サーバラック取り付けの為に部品及び機材 : CPU、メモリ、ファン、温度異常等の障害切り分けがパネル等で容易に可能な筐体であること : 今回導入予定のモニター・キーボード切替器に接続を行うこと